ラテンアメリカ連帯委員会機関紙

■2、3面 「南」の視座からのウクライ 今月の ナ問題

■ **4、5** 面 スリランカ債務危機とその背

南米ボリビアの挑戦 ■ 6 面

読み物 ■7面 ■8面 列島 AALA わたしと AALA

2022年11月1日 No.748

# 登違反の 領土併合約 争10!ウクライナから出て ア大使館前で抗議行

#### 国連総会特別会合は「併合無効とする決議」を143カ国の賛成で採択

ロシアのプーチン大統領は9月29日、ウクライ ナのヘルソン、ザポロジエの南部2州を「独立国」 と承認し、30日、既に「独立」承認済みの東部2 州のドネツク、ルガンスクと合わせて4州を一方的 に併合するため、親ロシア派代表との「編入条約」 の調印を強行しました。ウクライナに対する侵略拡 大と軍事占領下で強行された今回の行動は、2014 年のクリミヤ併合に続き、国連加盟国の主権、独立、 領土保全の尊重、武力の行使と威嚇の禁止を明記し ている国連憲章と国際法を踏みにじる暴挙です。日 本 AALA は、国連憲章違反の領土併合を糾弾し、 併合の即時撤回を求めます。

飯倉交差点

日本 AALA は、日本平和委員会や原水爆禁止日 本協議会などとともに、9月30日、ロシア大使館 前で、ロシアによる国連憲章違反の領土併合に抗議 し、「ウクライナに平和を」の声をあげました。日 本 AALA 常任理事の河内研一さんは、「20世紀か ら21世紀にかけて人権意識が進化し、戦争が違法 になった。今回のプーチンによる領土併合は、歴史 の進歩に逆行することである。世界中で連帯しプー チンを歴史の中で裁いていこう」と訴えました。

抗議行動に参加したウクライナ出身のリアナ・グ サクさん (写真中央) は、「ロシアの不法占拠から 半年以上たち、ロシア国内にも同意していない人が 多くいる。世界の人々にこの不法を訴え、国際世論 を動かしていこう」と呼びかけました。

ロシア大使館前の抗議行動は、2月25日から、9 カ月目に入りますが、毎月第1・第3金曜日の午前 11 時~11 時 30 分で、これからも続けて行きます。

# 「南」の視座からの ウクライナ問題

#### 大而 広 (慶應義塾大学/京都大学名誉教授)

ロシアによるウクライナ侵攻が 非難されるべき行為であることは 当然であるにしても、それにどう 対処するかで世界が割れているこ とはどう理解されるべきか。この 問題を考えるためにこの度、『ウ クライナ戦争と分断される世界』 (本の泉社) という書物を出版し た。簡単に言えば、いよいよ「結 東」する「西側」と、それに距離 を置く「南|という「分断」であ る。ちなみに中国は一貫してこの 後者の立場で行動している。

実際、「南」の諸国は西側と一 緒に、また西側的な方法でロシア を非難する気にはなれない。今 回、西側がロシアを非難する論法 はそっくりそのままアメリカや旧 帝国主義諸国の所業にもあてはま るもので、それに知らんふりをす る西側にどうしても同調できない からである。

この姿勢は、2月21日の国連 安保理事会緊急会合でのキマニ・ ケニア大使の発言に如実に表れて いる。その発言を要約すると次の ようになる。

「アフリカの諸国にとって国境 とは西側列強が恣意的に決めたも のでしかなく、このために多くの 混乱と暴力を経験させられてい る。しかし、そうだからこそ暴力 のない解決を求めたい。不自然な 国境の責任は西側にあるのではあ るが…」。この発言は西側諸国で 「アフリカ諸国もロシアを非難し ている」との文脈で報道している が、そのような報道しかできない ことこそが西側への不信を増幅さ れている。そして、そのため、そ の後のケニアは国連の諸決議に一 貫して「棄権 | の立場をとるよう になっている。

#### 分断される世界

この結果、こうした「南」の諸 国は、当然のこととして西側の呼 びかける経済制裁にも同調しない ので、結果として、ロシアの経済 制裁に参加をしている諸国は西側 のみとなっている。このことを次 の地図で確認されたいが、人口比 でいうとこれは、制裁参加国11 億人、対、非参加国 64 億人への 分裂となる。後者は要するに「南」 の諸国であり、世界が「西側」と 「南」にはっきりと分断されたこ とがわかる。

しかし、もちろん、言うまでも ないことであるが、これら「南」 の諸国がロシアの侵攻を支持して いるわけではない。そして、その ため、「南」の諸国は国連に提出 された諸決議にある時は賛成し、

ある時は反対し、ある時は棄権す る。ので、「南」の諸国の対応が ばらばらに見えることもあるが、 それはそう不思議なことではな い。迷いながらの投票となればそ のような結果となるのは当然であ るからである。

ただ、そう考えれば考えるほど ある種気持ちが悪いのは、各種の 決議にしても経済制裁にしても完 全に「一色」となった西側の態度 である。私はこれを「新冷戦」と いう構造として理解したいと考え ている。

#### 「冷戦構造」とはなにか

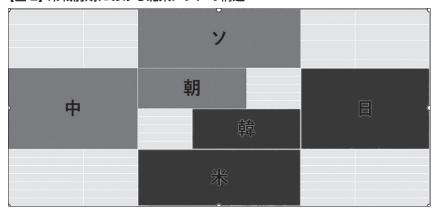
というのはこういうことで ある。次の図は数年前、日本 AALA の熱海合宿で披露したも のであるが、「冷戦」がどういう ものであったかを理解するのに役 立つのではないかと考え、再掲す る。軍事的緊張関係が世界を2分

#### 【図1】 ウクライナ問題での対ロシア経済制裁参加国 / 不参加国の分布



(出所 『週刊エコノミスト』 2022 年 6 月 21 日付けを一部修正したもの)

#### 【図2】冷戦前期における北東アジアの構造



していた当時の構造をよく表現しているからである。

実際、朝鮮半島の38度線の南側に戦車と大砲とミサイルが並ぶのであれば北朝鮮はその脅威に対し、旧ソ連や中国と硬い同盟関係を結んで対抗せざるを得ない。そして、もちろん、これは南側でも同じで、韓国はアメリカや日本と同盟関係を結ぶ必要が生じる。付言すると、これは旧ソ連と同盟を結ばなければならなかった中国や、日米安保を結ばざるをえなかった日本も同じで、この結果として世界は2つに分断された。「西側」も「東側」も一色に染められてしまったのである。

したがって、ここで重要なのは、 軍事的緊張関係が米ソ両覇権国の 支配を保証したということ、それ がなければ両覇権国が支配できな かったということである。つまり、 これは対立の両極に存在する2つ 覇権国が他国を自発的に従属させ るシステムであったのであり、私 は今回もこれと同じ構造がウクラ イナの東西を分断して組み込まれ てしまったのだと考えている。こ れまで「中立」だった北欧の2国(+ ウクライナ?)が今回NATOに 加盟することとなり、逆にロシア 側は今回、ベラルーシとドンバス の「2国」が「ロシア圏」として「ロ シア側」に属することとなった。 西側=アメリカ・サイドもロシ ア側もこうした「冷戦構造」を新 たに形成することで利益を得よう としているのである。

#### 「冷戦構造」と 対立する「南」の国々

しかし、こうして「冷戦システ ム」というものを振り返れば振り 返るほど、今回、このシステムに 組み込まれた諸国が少ないことに 気づく。要するにヨーロッパ地域 と、それと同様、中露朝 vs 日米 韓台に分断された北東アジアの両 地域がこのシステムに組み込まれ ているが、地球上で言えばこの地 域のみに限られている。本稿冒 頭で述べた11億人の「西側」と ロシアの衛星国となった数か国= 旧「東側」約1.5億人のみであっ て、残りの64億人の地域=「南」 の地域にはこのシステムの影響力 が及んでいないのである。私の上 記の理屈からいえば、これは軍事 的緊張関係をアメリカが組み込め るのが、ロシアや中国の周辺に限 られており、平和な諸地域に組み 込むことができないからとなる。 ベトナム戦争後の東南アジアには それができない。アメリカが影響 力を失った中近東でももはやそれ ができない。中露の仲介で国家間 関係が安定した印パ間でもそれが できなくなった。こうして「西側」 の影響下にある地域が世界中から ひとつひとつ消えてきたのがこの 間の歴史であったわけである。

大事な点なので、もっと鋭角的 に、韓国政治の大きな流れを考え てみたい。この国は経済的には中 国が最重要国となっていても、安 全保障上は米韓同盟がどうしても 重要となる構造となっている。の で、この状況下でもし軍事的な緊 張関係が高まれば「親米」に楫を 切らざるを得ないが、それがなけ れば「親中」に楫が切られる。ので、 軍事的緊張関係があればアメリカ の勝ち、平和になれば中国の勝ち、 この関係は日本でも同じである。 アメリカが軍事的緊張関係をどう しても強めようとするのは(トランプ政権の路線はその逆であった がその下野となって以降は)この ためである。

#### 我々は「南」とともに

したがって、我々平和勢力が依拠すべきはこの「南」である。「日本 AALA」という我々の組織名称自体がそもそも表している地域であり、上では言い忘れたが、それがちょうど「非同盟諸国会議参加国」と重なる。我々の運動の正しさを読者とともに再確認できれば幸いである。



#### 『ウクライナ戦争と 分断される世界』

大西 広 著 (本の泉社) 1445 円 + 税

# スリランカ 債務危機とその背景

#### 清水学(ユーラシア問題研究家)

今年4月のスリランカ (民主社会 主義共和国)のデフォールト(債務 返済停止)、つまり初めての国家破 産は、パンデミック、ウクライナ危 機による食糧、エネルギー価格の高 騰の影響を受けた発展途上国の中で も最も「弱い環」に起きたものであっ た。しかしそれが上位中所得国(1 人あたり GDP4016 ドル: 2021 年) であるスリランカであっただけに国 際的にも大きな衝撃を与えた。外貨 準備高は19年末の76億ドルから 今年7月末には18億ドルにまで急 落した。スリランカ・ルピーの対ド ル価値は今年2月から4月にかけて ほぼ半減した。9月のインフレ率は 対前年同期比で70%に跳ね上がっ ている。輸入が大幅に削減され、ガ ソリンや食糧はもとより、薬品や粉 ミルクまでも不足する事態を引き起 こした。停電時間も大幅に延長され た。雇用情勢も急速に悪化している。 8月に一時帰国したスリランカ人留 学生によると、物価値上がりが物凄 く、日本円に換算すると、主食の米 は1キロ80円から300円に急騰、 バス代は10円から40円、ガスボ ンベは1本800円が4000円となっ たという。さらに年央以降、米国は 自国のインフレ抑制のため矢継ぎ早 に金利を引き上げ、途上国の一層の ドル高・通貨安の要因となっている。

#### 一族支配構造と 経済産業政策の歪み

債務危機がグローバルな性格を 持っていることは事実であるが、同 時にスリランカ独自の構造的問題が 事態を先鋭化させた点も見逃 せない。大衆の怒りは何より も政府に向けられ、もっと具 体的に言えばラジャパクシャ 一族支配体制の打破に向けら れた。マヒンダ首相初め一族 の閣僚は辞職を余儀なくさ れ、最後まで踏ん張ったゴタ バヤ・ラジャパクシャ大統領 (俗称ゴタ) も7月14日に 国外脱出し辞表を提出した。 ほぼ20年間続いたこの一族 支配は当面大きな打撃を受け た。マヒンダは2005年から 2015年の間は大統領であり、 2019年11月には実弟のゴタ が大統領となった。今度は首 相には兄のマヒンダ、もう一 人の兄チャマルは灌漑相、弟 のバシルが財務相という重要 ポストを占めるという布陣で あった。バシルは米国との二

重国籍者であるが、憲法改正まで 行って二重国籍者の閣僚就任を合法 化した。また一族で政府高官や軍で 要職を占めている者も少なくない。 名門政治家の役割が大きいスリラン カでも、これだけ露骨な一族支配は 異常である。

ゴタ政権は就任直後から大きな政策ミスを引き起こした。人気取り政策を優先して付加価値税の33%引下げを強行したが、歳出削減を十分検討しなかったもので、財政経済運営で大混乱を引き起こした。20年初頭の対コロナ・ロックダウンも準備不足で非正規労働者へ打撃が集中した。さらに21年4月に輸入削減を目的として突如発表された、即時



スリランカ全図

実施を求める化学肥料の使用禁止である。農業政策の大転換の即時実施は無理であり、主食のコメ、輸出用の茶生産に大きな打撃を与え、大きな反発を受け撤回を強いられた。外部の智慧を動員できない一族支配の否定面が強く出たといってよい。

一族支配の弊害は短期的な政策に 限定されるものではない。投資額の 大きい開発プロジェクトの選定・実 施が必ずしも経済的合理性に基づい て行われずに、政治的配慮が優先さ れることが多かった。ハンバントタ 開発(港湾と空港)はその顕著な事 例である。元々漁港であった南東部 のハンバントタ地域はラジャパク シャー族の出身基盤であった。総投 資額約13億ドルの大部分が中国からの融資であったが、港湾事業を開始した2010年以降、赤字を累積することになった。2018年にはスリランカは保有株の70%を中国に売却して経営権を譲渡し、99年間かけて株式を買い戻すことにした。近くのラジャパクシャ国際空港は世界で最も稼働率の低い空港と言われ、採算が取れる見通しはまったく立っていない。もう一つの事例は、コロンボに建てた350mの高さを誇る仏教のシンボルである「蓮の塔」であるが、関連施設が未完成で放置され、観光収入に結びついていない。

#### 一族支配を強化した内戦の 遺産と国民統合の課題

ラジャパクシャー族支配を形成し てきた背景は何であろうか。そこで は 2009 年まで 26 年間もの長期にわ たって「タミル・イーラム解放の虎 (LTTE) | との間で戦われた激烈な 内戦を無視することができない。少 数民族タミルの武装勢力 LTTE は、 一時期北部キリノッチに「首都」を 置き中央政府と対抗した。この内戦 による死者は10万人を超えると言 われる。内戦の最終段階で強引な掃 討作戦を行った際の大統領はマヒン ダであり、軍人出身のゴタは国防次 官として指導的な役割を果たした。 中国の供与した兵器が内戦終結を早 めるのに貢献したと言われる。その 際の軍の残虐行為に関して現在でも 人権団体から追及する声が強いが、 内戦を終結させたことで軍は存在感 を強め、その影響は現在まで残って いる。軍の規模は肥大化したままで、 2200万の人口規模の国で軍人数は 25万人で、総雇用労働力の3%に 相当する。軍事費は内戦中よりむし ろ増加しており、軍関連は歳出の最 大費目のままとなっている。

スリランカの軍が懸念する安全保障問題が国内の民族宗派間の緊張にあるとすれば、国民統合の課題にこそ目を向けられなければならない。スリランカの民族構成は複雑であるが、約75%を占める多数派は

シンハラ人で、シンハラ語と仏教を アイデンティティの基礎においてい る。それに対して北部・東部を拠点 に旧い時代から居住するスリラン カ・タミル人は人口の約12%を占 め、タミル語を母語としヒンドゥー 教徒が多い。タミル人は英国植民地 支配下で人口比では相対的に優遇さ れてきた。そのなかでシンハラ民族 主義者は1950年代半ば以降、シン ハラ語を唯一の公用語(シンハラ・ オンリー政策)とし、仏教の国教化 を求める運動を展開してきた。この 動きは、特にタミル人とムスリム (人口比約10%) の危機意識を強め た。シンハラ・オンリー政策は法的 には実現できず、現憲法ではシンハ ラ語と並んでタミル語を公用語と認 め、英語を連結語としている。他方 仏教に対しては事実上国教としての 優越的地位が与えられている。しか しシンハラ民族主義が強まるなか で、1956年から1970年にかけ、公 務員でのタミル人比率は、専門職で 60% から10%、行政職で30% から 5%へ。軍隊では40%から1%へ 低下したという(『スリランカを知 るための58章』明石書店、65ペー ジ)。不満を持つタミル人過激派は 1976年にスリランカ北部及び東部 におけるタミル人国家の樹立を目的 としてLTTEを結成し、武装闘争 に入った。なお、19世紀に茶など のプランテーション労働者としてイ ンドから来たインド・タミルといわ れる人々が4%強存在するが、スリ ランカ・タミルとは由来は全く異な るグループで社会的経済的地位はは るかに低い。他方、人口比 0.5% に 過ぎないがポルトガル支配以降のカ トリックはエリートも多く独自の存 在感を有している。

#### 経済再建を求めて

今回の債務危機はスリランカの政治的経済的な構造的な問題を明らかにしつつある。民族間の共存による国民統合の課題が存在する。それは軍事費偏重の財政構造の改善の条件である。2019年4月に勃発した「イー

スター多発テロ | の衝撃はまだ残っ ている。これはムスリム過激派が主 としてカトリック教徒を狙った自 爆テロであるが、コロンボを含め、 死者は全部で 260 人、負傷者は 400 人以上に上った。死者には自爆テロ 犯 8 人、40人の外国人、45人の子 どもが含まれており、極めて重要な 観光業にも打撃を与えた。少数派ム スリムの過激派がなぜ別の少数派キ リスト教徒を標的としたのか、民族 宗派対立は複雑で背景が十分解明さ れていないが、シンハラ第一主義の 余波という側面があるかもしれな い。ゴタが 2019 年の大統領選挙で 集票するうえで、LTTE 壊滅と治 安回復を宣言したことがプラスに働 いた。しかしラジャパクシャ一族は スリランカ人口の約半数を占める仏 教のゴイガマ・カーストに属し、仏 教守護のナショナリズムをも代表し ている。今日の状況のなかで仏教徒 とムスリム、タミル人との共存努力 が特に重要になっている。

7月21日に大統領の地位を引き 継いだウィクレマシンハはラジャパ クシャの帰属するスリランカ自由党 (SLFP) ではなく市場経済を重視す る統一国民党(UNP)の党首である。 今まで IMF との交渉歴が多い。し かし今回の課題は困難かつ複雑であ る。今まで「聖域」であった軍関係 歳出も削減の対象となる可能性があ る。4月末時点での対外債務は351 億ドルで、その内訳は47%が市場 借入、アジア開銀が13%、日本と 中国がそれぞれ 10% であった(「日 本経済新聞」9月2日)。9月初め に IMF との間で 29 億ドルの金融 支援が暫定的に合意されたが、中国 の債務再編の行方とも連動し、米中 対立、中印間の覇権争いなどとも無 関係ではない。債務減免は不可避で あるが、債務者のその負担分を巡る 取引の前倒しにもなる。これは従来 の債務再編とは異なる要素を含んで いる。スリランカは政治経済的にも 新たな挑戦に直面しているが、この 機会に国民統合と自主的な合理的経 済政策の策定に通じる再建が求めら れている。

## 人間中心主義から地球中心主義へ 南米ボリビアの挑戦/駐日大使招き講演会

日本 AALA は9月29日、南米の駐日ボリビア 多民族国大使館から、ナタリア・サラサール臨時代 理大使とガブリエル・ドゥラン書記官を講師に招い て、第1回目のラテンアメリカ文化講演会(オンラ イン)を開きました。

2人は「パチャママ(母なる大地)」と「ビビール・ ビエン (安寧に生きる)」の標語に凝縮された新し い国つくりの考え方を説明、植民地主義への逆行を 許さず、行き詰まった資本主義の現状を克服し、「地 球と世界を守ろう」と訴えました。

同国では、2005年の大統領選挙で、史上初めて 先住民のエボ・モラレス政権が誕生し、新しい憲法 を採択して 「自然との共生、多民族の共存」の理 念に基づく国つくりに踏み出しました。これは一時、 アメリカに支持されたクーデターでとん挫させられ たものの、2020年の大統領選挙でモラレス政権を 引き継ぐルイス・アルセ氏が当選し、新国家建設の 路線が復活しました。

「われらが母なる大地との共生」と題して講演し たサラサールさんは「功利主義に単純化された文明 (資本主義)の下で、自然が人間文明の維持のため の単なる資源に貶められた結果、気候変動や森林破 壊、生物多様性の大量喪失と消滅など、自然体系の 安定性に深刻な危機がもたらされた」と指摘。その 打開には、温室効果ガスの排出削減、消費と生産の 在り方、富及び権力の蓄積と集中、資源の商品化の 論理の転換を含む、統合的解決法が必要だと強調し ました。

「ボリビアやアンデス・アマゾンの文化圏では、 権利は人間だけが持つものではなく、母なる大地は 権利を持つ生きものと考えられている。自然をあら ゆる生命の母であり父であると認識するこの観点に たって、人間と自然との間の均衡を最適化していく ことができる」と指摘。その具体化としての取り組 みは、物質的な豊さの追求ではなく、自然と共生し て「安寧に生きる」という概念に集約された新しい 文明モデルの形成をめざしていると強調しました。

一方ドゥランさんは、2つの概念が憲法や法律、 政令によってどのように規定にされているかを説 明。また13年前にボリビアの提案によって国連総 会が決議した「国際母なる地球デー」(4月22日) の取り組みを紹介しました。

最後に、ダビッド・チョケワンカ・セスペデス副



ボリビア建国記念日の記念コンサート(8月7日、東京)

大統領の公開書簡が紹介されました。副大統領はこ のなかで、いま交渉がおこなわれている「ポスト 2020年の生物多様性の世界的枠組み」の交渉につ いて、それが一部の非公式グループによって選別的、 排他的に行われていると批判。多国間交渉の規範に そった対話の必要とともに、ボリビア政府の立場を 次のよう説明しました。

☆「母なる大地」と調和し均衡がとれた「安寧に生 きる」ことを、公正、公平、連帯的な世界を実現す るための道として認知し、あらゆる形態の母なる大 地の生活を尊重すること。また、「母なる大地」中 心の行動を前進させ、強化して、すべての生物が「母 なる大地」と調和し共存して、補い合って共存する ことを強化し、現世代や次世代の幸福を実現するこ

☆自然と調和して生きるために「母なる大地」の諸 権利を認知すること。権利は人間だけに限られたも のではなく、すべての生き物は、「諸権利に従属す るもの」として、もっと広められなければならない。 自然は、客体ではなく、主体であり、感じ、喜び、 感動する生物であり、常に自分の子供たちにより多 くの命を与えることを熱望している。

☆生命から分離した人間中心のパラダイムに対し て、宇宙生物中心的観点を認知すること。人間中心 の観点は、自然の中の人類と分離しており、すべて の富を物質経済にのみ切り下げているので、宇宙生 物中心の生活の地平に場所を譲らなければならな い。自然との調和に向かい前進することは、「母な る大地」を生命の源泉として再発見することを意味 するはずである。

(文責:代表理事 田中 靖宏)



#### 新潟

#### 第 15 回総会& 講演会を開催

9月10日、新潟 AALA 第15回 総会と「ロシアのウクライナ侵略 はなぜ?東アジアの共同体をめざ して ASEAN の歩みから学ぶこ と」と題して記念講演会を開催し ました。講師は、田中靖宏・日本 AALA 国際部長で、約1時間お話 していただきました。

吉澤文寿·新潟 AALA 代表理 事より「戦争ということばが現実 味をおびてきて、ASEANの活動

に学ぶことを大切に考え、今回こ のテーマで講演会を開催すること になりました」との開会あいさつ の後、「なぜプーチンは暴挙に」「対 立を協力に変える ASEAN の挑戦」 など、田中さんよりパワーポイン トも使って、リアルで臨場感あふ れる講演が行われました。

ASEAN は「中立を守り即時停 戦を求める | 国連決議には10ヶ 国中8カ国が賛成し、ベトナムと ラオスは棄権しました。ロシアを 排除することには反対で対話と紛 争の外交解決を求めていると。

インドネシアのプラブォは「イ ンドネシアはなぜ非同盟を選択 するのか?なぜ外交を重視するの か?」をテーマにした講演で「ア ジアは植民地支配を受けた国。ど の国も植民地支配から立ち上がっ て一緒に努力してきた。だから一 緒にやっていく」と強調。

東アジアは宗教も多種多様、植 民地時代の宗主国がみんな違い、



横のつながりがない国々でした が、考えの違いや利害はあっても 戦争はしない、平和と繁栄に力を 尽くす…冷戦構造とは別に地域紛 争をなくそうとする集合体とし て、1967 年に ASEAN 設立宣言を 交わし ASEAN は生まれと。

21世紀は大国が世界を動かすの ではなく、国の大小にかかわらず 国連憲章の民族自決、主権平等の 原則にそった行動こそ主流となる 世紀で、私たちAALAの非核・ 非同盟運動の原点でもあると。平 和への思いを熱くした講演会でし (事務局長 野沢 洋子)

#### 岡山

#### ASEAN から学ぶ 平和への努力

岡山 AALA は、9月17日に 「2022年度総会」を開催しまし た。今年もコロナ禍のためにリ モート会議になりました。記念講 演は、日本 AALA 代表理事・国 際部長の田中靖宏さんにお願い しました。田中さんは、「ロシア のウクライナ侵略で揺れる世界、 ASEAN の歩みから学ぶ」と題し て、世界の動きと岸田政権の軍拡 などを解明し、「軍事対軍事」で は平和は実現しない」と ASEAN の「対話と協調」こそ、学ぶべき だと強調しました。

バイデン政権は「民主主義と専 制主義」での分断と対立を煽り、 NATO・EU、G7によるウクラ イナ支援とロシア制裁を行い、ア ジアでは台頭する中国との覇権争 いを強めています。中国に対し、 日米同盟を基軸に米日豪印の同

盟 (QUAD)、米英豪 (AUKUS) な ど包囲網を作っています。こうし たなかで、ASEANは、中立を保 ち「即時停戦」を求めています。 ロシア非難決議賛成141カ国に は ASEAN8 カ国も。ロシア排除 決議にはベトナム・ラオスも反対 しました。ロシアに対する経済制 裁では48カ国中アジアで賛成し たのは日本、韓国、(台湾)だけ、 アフリカ諸国は反ロシアに異議を 表明するなどそれぞれの国の条件 により、主権をつらぬいています。

インドネシアのプラボウォ国防 相は「インドネシアはなぜ非同盟 を選択するか」という演説の中で 「アジアは、何世紀にもわたって、 帝国主義、大国による支配、搾取. 収奪を受けてきた。今も大国間競 争の影響を受けている。そのため 違いを乗り越え、対立を協力に変 える外交努力をして、独自の方法 で平和な環境をつくってきた。過 去の経験から非同盟を選択して、 軍事同盟にくわわらない選択をし



た」と発言しました。

1967年の ASEAN 設立宣言以 降、1976年東南アジア友好協力条 約 (TAC)、2019 年 ASEAN イ ンド太平洋構想(AIOP)と、東 南アジア諸国は自主的に平和の 未来を作る構想を進めており、 ASEAN に学ぶことが世界平和と 紛争解決の力になると田中さん。 そのためにも「戦争するな!どの 国も」の国際署名をと訴えまし た。岡山 AALA の署名の到達は、 9月末で、22団体、301名の署名 となっています。講演後の総会で は、まとめと方針などが採択され ました。 (大西幸一)

内容

費用

## 「日本 AALA 全国学習交流集会 in 愛知」に参加を

### **11**月**13**日(日)13時開会/**14**日(月)12時閉会

愛知県 三谷温泉 ホテル「明山荘」

13日午後:日本ユーラシア協会常任理事 堀江則雄さん 講演

14日午前: ジャーナリスト、前平和新聞編集長 布施祐仁さん

交流 全国各組織の活動交流

1万4000円(1泊2食)補助を受けると9000円 交通費は各自

\*全国旅行支援「いいじゃん、あいち旅」が利用可能です。5000円の補助が受けられます。条件①コロナワクチン3 回以上接種した人で、接種証明書またはコピーを当日持参②未接種の人は、陰性証明書を当日持参③身分のわかる証明 書(運転免許証、パスポートなど)当日持参 \*5人部屋に2人の宿泊(コロナ対策で)



#### 活き活きととした 活動をめざして

学生時代の私は、民族や植民地 の問題に関心を抱き、上原専禄・ 岡倉古志郎・飯塚浩二などなどの 諸先生方の著作に親しみ、作家で は何といっても堀田善衛氏の作品 を愛読していた。岡倉先生が所長 のアジア・アフリカ研究所にも研 修生として受け入れていただき、 1学年下の友寄英隆君といっしょ に研究所の勉強会にも参加してい たことがあった。

その後、私の関心は次第に、抑

圧される側から抑圧する側に移 り、アメリカ帝国主義の研究を、 人種差別と抑圧の構造を軸に進め ることになったので、AALA の 活動に直接参加する機会は乏しく なった。

転機は、ずっと後になって、 2005年の4月にようやく訪れた。 この年の3月に神戸市外国語大 学を定年で退職した私は、続いて 北海学園大学人文学部で教鞭をと ることになり、札幌に居を移し た。この時、旧知の貫名初子さん から、北海道 AALA の伊藤悳夫 氏を紹介されたのである。初子さ んは、兵庫県 AALA の創立者で、 我が国のアフリカ研究やアメリカ 黒人文学研究の分野で先駆的な役 割を果たされて1985年に亡くな られた夫君、貫名美隆氏の跡を継 いで、当時、兵庫県 AALA の会 長をされていた。また、新婦人で の活動や消費税をなくす会などな ど、2020年に永眠されるまで、多

くの分野で活躍された、実に有能 なオルガナイザーであった。私 は初子さんと、北海道 AALA の リーダー伊藤氏のお二人にオルグ されて、65歳を過ぎてようやく、 AALA の一員に加えていただく ことになった。

伊藤ご夫妻や鈴木 頌氏、そして 多くの北海道 AALA のみなさん のおかげで、楽しく充実した5年 間を過ごした私は、2010年に神戸 に戻ると、待ち構えていた初子さ んから引き続き兵庫県 AALA の 活動に参加するよう求められ、二 つ返事で入会。それから今日まで の12年間、細々とではあるが会 の活動に参加している。

今年5月の大会でピンチヒッ ターとして、県 AALA の会長を 引き受けたが、県 AALA が、道 AALA のように活き活きとした 会になるためにはなにが必要なの かを、目下考えているところであ

#### 日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会

JAPAN ASIA AFRICA LATIN AMERICA SOLIDARITY COMMITTEE



編

集

発行

住 所 〒 105-0014 東京都港区芝 1-4-9 平和会館 6 階

電話:03(6453)7297 HomePage https://www.japan-aala.org/

FAX: 03 (6453) 7298 E-mail: info@japan-aala.org

振替 毎月1回1日発行1部150円(送料別63円) 00110-6-72434